

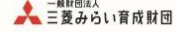


PDA 関西公立高校 即興型英語ディベート交流大会 2024

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2024年8月24日（土）12:00-17:00

会場：ハイブリッド（大阪府立北野高校+Zoom）



参加者：生徒43名（現地：大阪府立北野高等学校、奈良県立奈良高等学校、京都市立堀川高等学校、オンライン：滋賀県立膳所高等学校、滋賀県立彦根東高等学校、兵庫県立神戸高等学校）

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、北海道教育大学、東京大学、大阪大学

大阪府立北野高等学校に3校、オンライン上に3校集い、ハイブリッド形式で関西公立高校即興型英語ディベート交流大会が開催されました。開会式では、PDA代表理事中川智皓より、「現在PDAで実施しているシリコンバレーディベート研修で投資家や起業家の人からお話を聞く機会があるのですが、そこでの“trust”（信頼）に関するお話が印象的でした。正々堂々議論する、ジャッジに信頼してもらうようなスピーチをすることが重要です。頑張ってください。」とメッセージが送られました。そして、大阪府立北野高等学校の浅田校長先生より、「即興型英語ディベートほど論理的思考力や英語でのコミュニケーション力を鍛えることができる方法はありません。また、みなさん大学で同級生になるかもしれません。この機会に親しくなって友情を育んでください。」とご挨拶いただきました。

次にPDAスタッフより参加校の紹介が行われ、生徒は元気よく自己紹介を行いました。そしてジャッジ紹介、ルールの確認、注意事項の説明が行われました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習ではPOIのポーズに取り組みました。



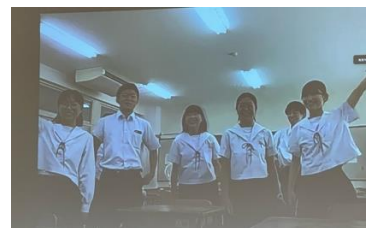
PDA代表理事中川のご挨拶



大阪府立北野高校浅田校長先生ご挨拶



学校紹介：「頑張るぞ！」と挨拶しています





POI の練習

1 ラウンド目の論題は、“Cashless payment should be mandatory. (キャッシュレス決済を義務化すべきである。)”でした。観光への影響や災害時の影響など幅広い観点から議論が行われました。POI も活発に交わされ、内容の確認だけでなく、代替案を提案するなどの内容に踏み込んだやり取りも行われました。ディベートの後は英語学習や部活動など学校生活のことについて話し、交流を深めました。



Table1: POI ! (北野 A VS 奈良 B)



Table2: 堂々とスピーチ(奈良 C VS 堀川 B)



Table3: 画面越しに活発に議論を交わしています(北野 B VS 膳所 A)



Table4: ジャッジや聴衆を意識してスピーチします(奈良 A VS 彦根東 A)





Table5: ジェスチャーも活用しながらスピーチ(堀川 A VS 神戸 B)



Table6 アイコンタクトしながらスピーチ
(神戸 A VS 膳所 B)



ディベート後、交流を深めます
(北野 A VS 奈良 B)

続く 2 ラウンド目の論題は “**We should introduce a female quota in university admissions.** (大学入試に女性枠を設けるべきだ。)” でした。ジェンダー平等の促進や多様性、逆差別の可能性などの観点から議論が行われました。ディベートが終わると直接、もしくは画面越しに握手を交わし、ジャッジより勝敗だけでなく個人フィードバックが伝えられ、ジャッジコメントの後にも積極的にジャッジに質問する場面も見られました。



POI の質問で議論を深めます [左]Table1 北野 B VS 奈良 A [右]Table2 奈良 B VS 堀川 A

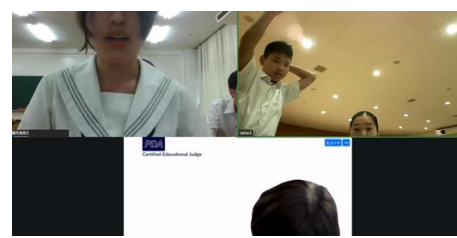


Table3: POI ! (北野 A VS 膳所 B)



Table4: 真剣にディベートした後は画面越しに握手を交わします(奈良 C VS 膳所 A)



Table5: 聴衆を意識してスピーチ 握手を交わして交流を深めます(堀川 B VS 神戸 A)



Table6: 堂々とスピーチしています
(彦根東 A VS 神戸 B)

Table1: ディベート後はお互いの健闘をたたえて握手します(北野 B VS 奈良 A)



準備時間の様子(彦根東 A)



集合写真(彦根東 A)

2 回の実践を終えると、教員ジャッジが「ぜひこの生徒のスピーチをもう 1 度聞きたい」と推薦した生徒によるエキシビジョンディベートです。まずはその代表者 6 名が発表されました。論題は、“**We should spend more money on space exploration.** (宇宙探査によりお金をかけるべきである。)”でした。「GPS などの技術のために宇宙探査が欠かせない、そしてそれは南海トラフなど地震のリスクを考えると必要不可欠である。」「いつか移住をしないといけない日が来るかもしれない。」と話す肯定側に対し、否定側は「それらには別の

方法で対応でき、研究者や宇宙飛行士の命に関わることはすべきではない。」「使われるお金は税金であるため、宇宙探査にお金を使うことは人々の負担になる。」と話しました。新しい資源の獲得が可能なのか、宇宙探査に使われるお金は本当に税金だけなのかなどお互いの論点を深めるための観点が提示され、POIも飛び交い、活発な議論となりました。



画面の向こう側にいるジャッジや相手を意識してスピーチしています



エキシビションディベータ (現地)



ディベート後のエアークラップ

閉会式では、まず表彰式が行われ、仲間と受賞の喜びを分かち合いました。その後、滋賀県立彦根東高等学校の伊吹校長先生より、「今日は実践的な英語を身につけるための良い機会になったのではないのでしょうか。今後、よりグローバルに、より多様な人とコミュニケーションをとる機会がどんどん増えていきます。ぜひ今日のようにエネルギーにチャレンジし続けてください。」と閉会のご挨拶をいただきました。そして、在大阪・神戸米国総領事館のケント・トノヅカ様より「文法や発音は重要ではありません。アイデアがよければ人々はあなたの話を聞いてくれます。今回の論題ではアメリカでもとてもホットな話題です。ぜひそういったことを学習したい人は留学にもチャレンジしてほしいです。英語を通じたコミュニケーションは“trust”のためにも重要です。これからも頑張ってください。」とメッセージが送られ、関西公立高校即興型英語ディベート交流大会が終了しました。



滋賀県立彦根東高校伊吹校長先生ご挨拶



在大阪・神戸米国総領事館ケント・トノヅカ様ご挨拶

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

・PM	大阪府立北野高等学校	_____さん
・LO	京都市立堀川高等学校	_____さん
・MG	滋賀県立彦根東高等学校	_____さん
・MO	奈良県立奈良高等学校	_____さん
・LOR	滋賀県立彦根東高等学校	_____さん
・PMR	兵庫県立神戸高等学校	_____さん



〈チーム賞〉

1位	京都市立堀川高等学校	Bチーム
2位	奈良県立奈良高等学校	Aチーム
3位	奈良県立奈良高等学校	Bチーム
4位	兵庫県立神戸高等学校	Bチーム
5位	滋賀県立膳所高等学校	Bチーム



1位 堀川 B



2位 奈良 A



3位 奈良 B

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- | | |
|------------------|----------------|
| _____さん (神戸 B) ★ | _____さん (堀川 B) |
| _____さん (膳所 B) ★ | _____さん (堀川 A) |
| _____さん (奈良 B) ★ | _____さん (奈良 C) |
| _____さん (北野 B) ★ | _____さん (奈良 A) |
| _____さん (神戸 A) | _____さん (奈良 A) |
| _____さん (膳所 A) | _____さん (北野 A) |
| _____さん (堀川 B) | |



〈ベスト POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

- | | |
|------------------|----------------|
| _____さん (神戸 A) ★ | _____さん (堀川 B) |
| _____さん (奈良 B) ★ | _____さん (堀川 A) |
| _____さん (北野 B) ★ | _____さん (奈良 C) |
| _____さん (北野 A) ★ | _____さん (奈良 A) |
| _____さん (神戸 B) | _____さん (奈良 A) |
| _____さん (神戸 B) | _____さん (北野 A) |
| _____さん (膳所 A) | |



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校の皆様と交流させていただいた時間がとても楽しかったからです。また、自分の弱点をフィードバックやエキシビジョンディベートのジャッジを通して言語化できたので、これからの練習が楽しみになりました！（北野高校）
- ・語彙力豊かだったり、話すのが上手だったり、と同じ年齢とは思えない素晴らしい方々と交流することができ、刺激と学びをいただきました。（北野高校）
- ・自分の学校だけでしていると、出てこないアイデアがあって新しいアイデアが聞けてよかったです。（奈良高校）
- ・初めてディベートの大会を見ることができて、しかも参加することまでできて、本当に有意義な時間を過ごせました！対戦校の皆さんはとても強くて、私なんか全然話せなかったのもっと頑張ろうと強く思いました。この大会に参加できて、本当に良かったです！（奈良高校）
- ・とても学びが多い1日になりました。ありがとうございました。（堀川高校）
- ・とても実りある大会でした！本日得たことだけでなく、これから得られる（ようやる気を引き出された）ことも大きな収穫です。英語部所属ではないのですが、ディベートには今後とも機会を見つけて関わっていきたいと思いました。（堀川高校）
- ・楽しかった！！！！！！（膳所高校）
- ・初めての試合でしたがこんなに楽しいと思いませんでした！ありがとうございました！（膳所高校）
- ・1ラウンド目の試合で、フィードバックをもらったときに自分では思いつけなかった視点に気づかされた。（彦根東高校）
- ・自分のディベート力の足りなさをすごく実感したけれど、もっと練習して力をつけたいと思いました。（彦根東高校）
- ・現代社会の問題について英語で即興で議論する機会を設けていただき、とても良い経験となりました。今日の改善点を踏まえ、これからの生活に活かしていきたいと思えます。（神戸高校）
- ・大会は初めてだったので、途中焦ってしまったり、時間管理がうまくいかなかったりと、たくさん悔しい点がありますが、参加できて本当に良かったです。自分と同じぐらいの年齢で、ディベートがとても上手な人と関わることができて、いい刺激になりました。（神戸高校）
- ・高校生たちが社会の問題に関心を持ち、議論している様子を見て、将来どんな人に育つのか楽しみになりました。残念ながら暗いニュースの多い昨今ですが、今日は日本の明るい未来が見えました。このような場を提供いただきましたこと、感謝いたします。ありがとうございました。（教員）